生命を科学する 明日の医療を切り拓く

2018年 Vol.36 No.3

拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、実験医学2018年2月号を右記内容にて発行いたします。つきましては、貴社の優秀な機器・試薬・サー ビス・書籍等をアピールする場として本誌面をぜひご活用いただきたく、広告掲載のご案内を申し上げます。

敬具

ページ広告

掲載面	刷色	スペース	掲載料金(税別)
表紙4	4色	1P	300,000
表紙2	4色	1P	250,000
表紙2対向	4色	1P	200,000
表紙3	4色	1P	200,000
表紙3対向	4色	1P	150,000
	1色	1P	110,000
前付	4色	1P	150,000
		ブリード版	165,000
	1色	1P	110,000
中付	4色	1P	150,000
(記事中)	1色	1P	110,000
後付	1色	1P	90,000
		1/2P	55,000
差込(持込み)		1枚	200,000
タイアップ広告 (記事広告)	4色	2P	380,000

*写真修正・図案・版下・製版等は実費をいただきます。

INFORMATION 1枠 (1/3P) あたり

掲載内容	掲載料金 (税別)	
人材募集(企業研究員など)	40,000	
セミナー・研究会等の告知	20,000	
共同研究・技術講習会の告知	20,000	
試薬・機器・サービス等の キャンペーン	40,000	
サンプル・デモ機等のモニター募集	40,000	

間掲載での割引(掲載面問わず;	事前申込の場合	のみ適用)	
告回数 (回/年)	3回	6回	12回	
割引率	3%	5%	10%	

発行概要

● 発行部数 : 12,000部

● 発行日 : 2018年 1月 19日 (金) 予定

広告申込概要 B5判オフセット印刷

申込締切目……2017年 12月 1日(金) 原稿締切日……2017年 12月 6日 (水) ※日程は変更になる場合がございます

※広告の掲載内容を確認させていただく場合がございます

[モノクロ広告] データ[※]またはポジフィルム (膜面:下 133線)

1 頁 ……天地 220 mm ×左右 150 mm 1/2頁 ······天地 105 mm ×左右 150 mm

[カラー広告] データ[※]または4色分解ポジフィルム(膜面:下 175線)

1頁 ……天地 220 mm ×左右 150 mm

ブリード版 ……天地 257 mm ×左右 182 mm 表紙 4 ……天地 192 mm ×左右 150 mm

表紙 4 ブリード ……天地 202 mm ×左右 160 mm

※入稿形式(データの場合):Adobe Illustrator

使用したOSとソフトのバージョンをご明記下さい。 データは必ずアウトライン化して下さい

【発行元】株式会社 羊土社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-5-1 TEL 03-5282-1211 FAX 03-5282-1212 URL http://www.yodosha.co.jp/

【広告総代理店】株式会社 エー・イー企画

₹101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4 一ツ橋別館4F TEL 03-3230-2744 FAX 03-3230-2479 E-mail:adinfo@aeplan.co.jp

広告掲載申込書

下記の通り、「実験医学(2018年2月号)」に広告掲載致します。

月 日

貴社名:		TEL:		FAX:	
所在地:〒					
担当者名:	所属		E-mail:		
掲載場所:		頁/枚	掲載料金:		
支払方法:			支払日:		

実験医学2018年2月号(Vol.36 No.3) 広告のご案内

②羊十計

Neuroimmunology

炎症から機能の相互作用へと広がる神経免疫の世界(仮題)

企画/井上 誠 (イリノイ大学)

神経免疫学は、神経系と免疫系の相互の関連性が見出されたことから、その両者を統合する学問分野として 発展してきました。その成果として、主に神経系で起こる炎症性疾患の病態についての研究が進んできました。 しかし近年、中枢神経系に免疫細胞が侵入するメカニズム、また神経系による免疫の制御についての新知見が 出てきて、神経免疫学は新たな展開を迎えています、特集では分野を切り拓く気鋭の研究者たちに、驚きの最 前線とその魅力をお伝えいただきます。

関連キーワード・技術

◆感覚ニューロン ◆ケモジェネティクス ◆神経回路トレーシング ●炎症 ●自己免疫疾患 ◆イメージング ●脳神経関連疾患 ◆疾患モデルマウス

▶ 特集の詳しい背景は、裏面をご覧ください

◆ 序にかえて―神経免疫研究の歴史と新展開 井上 誠 (イリノイ大学)

◆ ストレスや痛みが引き起こす炎症 村上正晃(北海道大学)

◆ 炎症に伴う免疫細胞による神経障害性機能の獲得 井上 誠(イリノイ大学)

◆ 交感神経による免疫の日内変動 鈴木一博(大阪大学)

◆ 自閉スペクトラム症と神経免疫 内野茂夫 (帝京大学)

◆ 脳脊髄障害による神経回路再編と免疫 上野将紀(新潟大学)

片岡洋祐 (理化学研究所) ◆ 炎症から脳神経を保護するグリア細胞

本号へのご出稿のポイント

- 社会的に問題意識の高い慢性ストレスと免疫応答の関連の 分子レベルの解明を目指す注目テーマ
- 免疫・炎症,神経研究者,神経内科医の関心を集めるテーマ
- 特集内容にあわせて、求人・共同研究の募集、セミナー開催、キャンペーン・ 製品デモを告知できます (INFORMATIONコーナー、詳細は裏面へ)

実験医学2018年2月号(Vol.36 No.3)

特集: Neuroimmunology

炎症から機能の相互作用へと広がる神経免疫の世界(仮題)

企画/井上 誠 (イリノイ大学)

本特集テーマの企画の背景

「病は気から」ということわざに現れているように、精神ストレスがさ まざまな病気に関与していることは昔からなじみ深い日常感覚です。 「鍼治療」は、離れた部位を刺激することで免疫の賦活を期待できる経 験に根ざしたものであり、東洋医学でも神経と免疫の関連性は示唆さ れていました.また脳や脊髄の損傷後の死亡要因の第1位が実は感染 症であることも、両者の関係を示唆しています、しかし、そのメカニズム はほとんどわかっていませんでした.

近年,離れた神経細胞の接続を追えるトレース技術や、特定の遺伝 子のオンオフを薬品でスイッチできる化学遺伝学(ケモジェネティクス) 手法、多発性硬化症や自閉症の疾患モデルマウス作出など先進技術の 後押しによって、神経と免疫の関連性が分子レベルの解像度で理解さ れています.

感覚神経の刺激が離れた中枢神経系での免疫細胞の働きに寄与す ること、交感神経によって免疫応答の日内変動が生み出されるメカニズ ム,免疫を担うグリア細胞にも炎症を亢進するタイプと抑制して神経を 保護するタイプの2種類が発見されるなど、日進月歩の知見が蓄積して います、本特集では、いま明らかになりつつある神経と免疫の交差点を 幅広くご紹介します.

■ 過去の関連特集 ■



実験医学 2013 年 9 月号 Neurovascular Unit I



実験医学増刊号 Vol.32 No.17 「炎症一全体像を知り 慢性疾患を制御する」

- クローズアップ実験法 「疾患モデルマウスを用いた糞便移植実験(仮)」
- Next Tech Review

金井隆典 (慶應義塾大学)

「ゲノム合成(仮)」 相澤康則 (東京工業大学)

【新連載】 私の実験動物、個性派です! < Part2 > (仮) 飯田敦夫 (京都大学) タツノオトシゴ, ウーパールーパー, ハダカデバネズミ…さらに個性的な面々がお出迎えします!

News & Hot Paper DIGEST / 創薬に懸ける / カレントトピックス … ★その他人気連載を多数掲載!

実験医学からのお知らせ

詳細案内中. お問い合わせください!

求人・セミナー・共同研究・キャンペーン・モニター ...

「実験医学 INFORMATION」で告知しませんか?

誌面に掲載した情報は、内容そのままで

「WEB:実験医学 online」「メールマガジン:羊土社ニュース」

にも無料掲載 1回のお申込で同時に3種類の媒体で紹介できます!





羊土社ニュース





2月号の特集は「Neuroimmunology」、本特集内容にあわせた、関連読者が期待できます! 特に、神経・免疫・炎症に関連した研究会、共同研究、周辺機器メーカーやサービス、試薬、 解析ソフト、受託 … など、ぜひこの機会をお役立てください!

実験医学2018年3月号 (Vol.36 No.4)

「Mycの多機能性はどこまで解ったか

古典的がん遺伝子の再発見がもたらす生命の新しい理解(仮)」

企画/奥田晶彦(埼玉医科大学)

◆急性リンパ性白血病 ◆ワールブルグ効果

● 以下の **増刊号でも広告出稿をご案内しています** ●



Vol.36 No.5

「レドックス疾患学(仮)」

編集/赤池孝章(東北大学),本橋ほづみ(東北大学), 内田浩二(東京大学),末松 誠(慶應義塾大学)

⇒詳細はお問い合わせください



Vol.36 No.7

「骨格筋の恒常性と代謝・全身性制御の最前線(仮)」

編集/武田伸一(国立精神・神経医療研究センター)